

# 矢田南中学校 学校教育重点目標

人権尊重の精神と態度を持ち、  
あらゆる差別を許さない

自立した子ども =

- ・自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考える「生きる力」をもった子ども
- ・身の回りにおける不合理や矛盾に気づく感性や正義感をもった子ども
- ・確かな将来展望をもち、自尊感情を高め、自己実現を迫る子ども
- ・違いを認め合い、互いの人権を尊重しあう豊かな人間性をもった子どもに育てる

## 1. 基礎基本の徹底

確かな学力の向上を図るため、教育内容の精選や、指導方法の創造・工夫を行いながら、組織的・計画的な授業を推進する。

- (1) 生徒が意欲的・主体的に学習に取り組める指導方法を工夫する。
- (2) 保護者との連携を密にし、家庭学習の習慣化を図る。
- (3) 小学校との連携を深め、早い段階でつまづきや低学力の原因を把握し習熟度別少人数授業など個に応じた指導の充実を図る。
- (4) 進路に対して目標をもたせる系統的な進路指導を行う。
- (5) 生徒の実態把握に努め、特別支援教育の校内体制を整備する。

## 2. すべての教育活動において人権を尊重する態度の育成

「にんげん」の精神をふまえながら生徒一人一人の自主性や自立性を育て、自己の生き方の基本として人権をとらえ、共に協力し高めあう集団を育成する。

- (1) 不合理や矛盾に気づく感性を養い、互いに理解し合い支え合いながら問題を解決していく集団を育成する。
- (2) 自らのよさに気づき、自己を肯定する感情をはぐくみ、自他の尊厳を認める態度を育成する。
- (3) 差別を見抜き、差別を許さない人権意識を育てる。
- (4) 矢田子どもつながり連絡協議会と連携し、チョソソ友の会、「障害」をもつ仲間と共に考える会、解放研、生徒会の活動を充実させる。

## 3. 基本的生活習慣の確立と個性を伸ばす生活指導の徹底

人権尊重の精神を基盤に、生命の大切さを自覚し、互いに励まし合い高め合う集団を育成する。

- (1) 生徒一人一人の生活実態を的確に把握し、共感的・総合的に理解し好ましい人間関係の形成に努める。
- (2) 人権尊重の視点に立ち、挨拶や言葉遣い、決められた時間を守る等の指導を徹底し、社会の一員としての自覚と責任を持った生徒を育成する。
- (3) 生徒会活動や部活動を活性化し、互いに励まし合い、高めあう集団を育成する。

## 4. 保護者・地域との連携

信頼される開かれた学校づくりに向け、学校と家庭、地域との連携を深めるとともに、地域全体で子どもを守り育てる総合的な教育力の向上を図る。

- (1) 生徒の生活の場である家庭・地域の特色を生かし、「地域に根ざした教育」を推進するとともに、地域の教育力を活用した取組みに努める。
- (2) 保護者・地域住民の、学校に対する願いや思いを把握し、積極的な情報発信を行い「開かれた学校づくり」を推進する。
- (3) 矢田人権・同和教育推進協議会等の地域関係機関との連携を図り、地域の理解と地域からの信頼を深め、課題解決を図る。

## 5. 教職員組織の充実

お互いの共通理解を図りながら相互援助のできる教職員組織をつくる。指導力向上に向けた研修体制の充実を図る。

- (1) 学力向上に向けて、「わかる」「楽しい」授業を創造するために、積極的に校内研修・研究授業に取り組む。
- (2) 教職員の人権意識を高めるために、大阪市人権教育研究協議会や教職員地域研修推進委員会が行う研修会等へ、積極的に参加する体制をつくる。
- (3) 小中一貫した学習指導や生活指導の方法等の実践研究を推進する。